

着ぐるみ(伊勢まいりん)を使用した伊勢市観光事業のPR活動

伊勢市観光協会のイベント

ゆるキャラグランプリ2007

ミナガシマ スパワールド

第37回 伊勢楽市

伊勢Mりんに乗って撮って

伊勢市環境フェア

よいまちバル

まいりんくんマラソン活動 打ち合わせ

ゆかたで千人参り

自己紹介、概要説明

7

8

9

10

11

2

2017

◆今年度の活動を振り返って（成果と課題）

・成果

私たちは、着ぐるみ(伊勢まいりん)を使用した伊勢市観光事業のPR活動に、主に「まいりんくんに一番近い存在」とそのアテンドとして参加してきました。そこで私たちが学んだ事は、「広報活動の手法」について学ぶ事ができました。これはどういうことかという点、「伊勢まいりん」が現れる前は、伊勢市観光協会青年部の方たちが、パンフレットなどを配布したりして、伊勢市のPR活動を行っていました。しかし、その反響はあまり芳しいものではなかったそうです。その結果を踏まえた伊勢市観光協会青年部の関係者の人たちは、伊勢市の広報活動の媒体として、「ゆるきゃら」に注目しました。そこから、「ゆるきゃらを作る費用」や「それを作ったときの効果は如何なものか？」といった問題を解決した後「伊勢まいりん」というキャラクターが誕生しました。その結果は、生身でパンフレットを配布するよりも、評判が良くなり、万人受けしたそうです。私たちが実際に「まいりんくんに一番近い存在」になってみて、その効果を実感する事ができました。それは、CLLの活動で様々なイベントに出させてもらった機会に子どもたちがじゃれてきたり、大人の人たちと写真撮ったりして、笑顔でこちらを受け入れてくれたことです。

・課題

「伊勢まいりん」に注目するだけでなく、そこから伊勢市に興味を持ってもらい、実際に伊勢市を訪れてもらえる仕組みづくりを進めていく必要があると感じました。まいりんくんは、伊勢市で生まれた男の子ではありません。伊勢市を訪れてこの町が大好きになったので、そのまま住んでいます。伊勢市を訪れた人にもまいりんくんと同じ気持ちを感じてもらえる企画やグッズを考えていくことが大切です。

イベントの中では、まいりんくんのより魅力のある動きやポーズを考えることや、アテンドとして周りに気を配り、みんなに楽しい気持ちを味わってもらえるような工夫を考えることが課題だと思えます。



特にアピールしたいポイント

伊勢まいりんくんを通じて多くの人とふれあう機会があります。また、伊勢市をより魅力のある町にしようと頑張っている伊勢市観光協会青年部の方々とつながることができます。皇学館大学の地元である伊勢市をより良い町にしたいと思っている人はぜひ参加してみてもいいですか？



実施主体様の声

8月からスタートして、月に1回以上のイベントに参加。イベントでは、伊勢まいりんくんのアテンドの他、実際に着ぐるみに入って演じてもらい、地域の方や、観光客、ゆるキャラファンの方たちと記念撮影などでふれあいました。見た目はゆるキャラですが、着ぐるみに入るのは、大変な作業で、特に暑い時期はえらかったと思いますが、二人とも楽しそうに活動してくれました。グッズ作成では、Tシャツのデザイン案を考えてもらい、2種類作った内の1つは学生の案をもとに作成しました。

